

授業科目名: 保健体育科指導法 I	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 杉山正明・渋谷聡・秋澤一輝 担当形態: クラス分け・単独
実務内容 (実務家教員の場合)	高等学校保健体育科教諭としての経験を活かして、中学校および高等学校保健体育科教諭としての資質・能力を高めるとともに学習指導案の作成について指導する。		
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
【授業のテーマ】 中学校および高等学校の体育の授業づくりと学習指導案の作成の方法			
【到達目標】 ・保健体育科教育の目標、学習指導要領及び解説の内容の示し方、体育の授業づくりの原理・原則について理解できるようにする。 ・学習評価の在り方を理解し、「指導と評価の一体化」に基づいた単元を見通した授業計画の立案と学習指導案の作成ができるようになる。			
授業の概要			
本授業では、教師に求められる資質・能力および授業に求められる保健体育教師の力量形成、体育における授業づくりの原理・原則、評価規準の作成方法を理解したうえで、「主体的・対話的で深い学び」を目指した学習活動の具体的な在り方やICT機器の効果的な活用についての実践的な学びを深めるとともに学習指導案を作成することができることをねらいとする。			
授業計画			
第1回:保健体育科教育の意義、目標および保健体育教師の資質と能力 第2回:学習指導要領及び解説に示された「体育の見方・考え方」と学習内容・学習方法 第3回:体育における「主体的・対話的で深い学び」の捉え方とその具体 第4回:良い体育授業の条件から捉えた体育授業づくりの原理・原則 第5回:体育授業における教材・教具づくり 第6回:体育における「指導と評価の一体化」のための評価規準の設定 第7回:体育の授業における効果的なICT機器の活用方法について 第8回:模擬授業Ⅰ(球技:ネット型)に向けて指導案作成 第9回:模擬授業Ⅰ(球技:ネット型)実践 第10回:模擬授業Ⅱ(球技:ゴール型)に向けて指導案作成 第11回:模擬授業Ⅱ(球技:ゴール型)実践 第12回:模擬授業Ⅲ(体づくり運動)に向けて指導案作成 第13回:模擬授業Ⅲ(体づくり運動)実践 第14回:模擬授業省察、「指導と評価の計画」とその実践についての振り返り 第15回:自己の教育課題の発見と社会の変化に対応した教育の在り方 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
スクーリング(オンデマンド)では、第1回~第5回の内容を包括的に扱い、スクーリング(対面)では、第7回~第13回の内容を包括的に扱う。			
テキスト			
(1)文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編 平成29年告示』東山書房、978-4-8278-1560-3 (2)文部科学省『高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 平成30年告示』東山書房、978-4-8278-1568-9			
参考書・参考資料等			
(1)杉山重利他(編著)『めざそう 保健体育教師』朝日出版社 2010年 9784255005164 (2)高橋健夫他(編著)『新版 体育科教育学入門』大修館書店 2010年 9784469267013			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			